

平成29年度本巢市教育委員会
事務事業の点検・評価結果報告書



平成30年8月
本巢市教育委員会

点検評価結果の概要

I. はじめに

1. 教育委員会事務事業の点検・評価制度の実施について

平成19年6月「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、教育委員会の活動状況・会議の実施状況や所掌する事務の管理・執行状況について点検・評価を行う際には、学識経験者の知見の活用を図ることも規定されています。

本巢市教育委員会では、平成27年度から平成31年度までの5年間を対象期間として平成27年2月に「本巢市教育基本計画 後期計画」を策定いたしました。

平成29年度の教育委員会事務事業の点検・評価は、この「本巢市教育基本計画 後期計画」に定める項目ごとに点検・評価することとし、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、ここにその結果を報告いたします。

Ⅱ. 点検・評価の実施方法について

1. 評価の対象

教育委員会が平成29年度に実施した、会議・調査活動及び事務事業について点検・評価を実施する。

- ・ 教育委員会の活動状況、教育委員会会議の実施状況等
- ・ 本巢市教育基本計画の重点ごとの主要施策の執行状況、事務事業の執行状況

2. 評価の進め方

(1) 一次評価

教育委員会事務局において評価対象事業等の自己評価を実施する。

(2) 二次評価

一次評価を基に、評価委員（教育に関し学識経験を有する者等）により二次評価を実施する。

(3) 最終評価

教育委員会は、一次評価・二次評価の結果を踏まえ、最終評価を実施し報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表を行う。

3. 点検・評価の基準

点検・評価は、対象事業の必要性、効率性、有効性、達成度の視点から評価を行う。また、下記の評定基準により総合的に評価を行う。

<総合評価>

次の4区分により達成度の評価を行いました。

評 定	内 容
A	順調に達成しているもの
B	おおむね順調に達成しているもの
C	達成見込みであるが課題があるもの
D	順調でないもの

Ⅲ. 評価結果の概要

1. 教育委員会の活動状況

平成29年度の教育委員会の活動状況の点検評価は、下記のようになりました。

(1) 教育委員会の会議の活動状況

- ①教育委員会の開催
- ②総合教育会議の開催
- ③点検評価委員会の開催

評価

A

A

A

(2) 調査活動の状況

- ①学校訪問
- ②先進地視察
- ③市町村教育委員会連合会研究総会

A

A

A

2. 事務事業の執行状況

平成29年度の重点施策別の点検評価は、下記のようになりました。

目標1 知徳体の調和がとれ、自己実現をめざす自立した人づくり

評価

重点(1) 子どもの学力を伸ばす授業づくり

A

施策① 学校 ICT の活用など確かな学力の向上 (11 項目中の評価、A : 11 項目、B : 0 項目)
施策② 心と体のすこやかな発達 (8 項目中の評価、A : 8 項目、B : 0 項目)
施策③ 子どもの自主的、実践的な活動の支援 (2 項目中の評価、A : 2 項目、B : 0 項目)
施策④ 個のニーズに応じた特別支援教育の推進 (2 項目中の評価、A : 2 項目、B : 0 項目)
施策⑤ 教職員の研修の充実 (11 項目中の評価、A : 11 項目、B : 0 項目)

目標2 園・学校、家庭及び地域との連携による一貫した教育環境づくり

評価

重点(1) 共に学び合う環境づくり

A

施策① 園・学校・家庭及び地域の連携強化、ふるさと学習の推進 (3 項目中の評価、A : 3 項目、B : 0 項目)
--

重点(2) 地域から学ぶ学校づくり

A

施策① キャリア教育の充実 (2 項目中の評価、A : 2 項目、B : 0 項目)
施策② 地域ぐるみによる子ども支援 (4 項目中の評価、A : 4 項目、B : 0 項目)

重点(3) 地域による教育支援体制づくり

A

施策① 子どもの安全・安心の確保

(9項目中の評価、A：9項目、B：0項目)

目標3 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり

評価

重点(1) 未来を築く人づくり

A

施策① 青少年の健全育成と国際感覚をはぐくむ教育の推進

(19項目中の評価、A：19項目、B：0項目)

重点(2) 人を育てるコミュニティづくり

B

施策① 生きがいと活力のあるまちづくりの推進と充実

(19項目中の評価、A：18項目、B：1項目)

施策② スポーツコミュニティづくりの推進と充実

(30項目中の評価、A：29項目、B：1項目)

重点(3) 伝統文化を受け継ぐふるさとづくり

B

施策① 郷土の歴史、文化の伝統及び芸術・文化の推進と充実

(12項目中の評価、A：11項目、B：1項目)

目標4 安心して学ぶことができる教育を支えるための環境づくり

評価

重点(1) 子どもの居場所づくり

A

施策① 安心して学べる学校の創造

(8項目中の評価、A：8項目、B：0項目)

施策② 個に応じた学習支援、教育相談の充実

(5項目中の評価、A：5項目、B：0項目)

施策③ 特別支援教育体制の充実

(4項目中の評価、A：4項目、B：0項目)

重点(2) 地域による教育支援体制づくり

A

施策① 学校施設・設備、備品の整備・充実

(10項目中の評価、A：10項目、B：0項目)

施策② 社会の変化に対応した教育環境の整備

(6項目中の評価、A：6項目、B：0項目)

IV. 点検評価結果の内容について

(1) 教育委員会の活動状況

評価

①教育委員会会議の開催

A

教育委員会会議の開催状況については、会議を13回、議案39件の審議を厳正に行いました。また、委員会終了後には、委員からの情報提供や、事務局からの事務事業の進捗状況その他の報告に関し、委員と事務局との意見交換を活発に行いました。

②総合教育会議の開催

A

地方教育行政法の改正により、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り教育課題を共有するため、平成27年度から設置が義務化となり、開催しています。

「本巣市型コミュニティ・スクール」、「義務教育学校」、「高木貞治博士記念室」等について、市長等と意見交換を行いました。

③点検評価委員会

A

平成28年度に実施した教育委員会事業についての点検・評価結果を協議し、報告書をまとめました。

(2) 調査活動の状況

評価

① 学校訪問

A

調査活動の状況等については、糸貫中学校、土貴野小学校、一色小学校、糸貫西幼稚園、真桑幼稚園、真正中学校、外山小学校、根尾幼稚園、弾正小学校、弾正幼稚園を視察し、学校教育（園）の現状を把握した他、学校現場から直接意見を聴くことで、教育現場の現状をそれぞれの角度から把握することができました。

評価

② 先進地視察

A

小中一貫教育である義務教育学校白川郷学園を訪れ、学校の経営・教育方針を聞き、ふるさと学習・生き方教育について学ぶことができました。

③ 市町村教育委員会連合会研究総会

A

県内小中学校における、先進的な取り組みに学ぶことができました。

(3) 各重点における事務事業の執行状況

目標1 知・徳・体の調和がとれ、自己実現をめざす自立した人づくり

重点(1) 子どもの学力を伸ばす授業づくり

施策① 学校 ICT の活用など確かな学力の向上	評価
・自分の教科指導を観る一つの「窓」を活用	A
・個に応じた学習指導の実施	A
・園関係者評価委員会 学校関係者評価委員会	A
・小学校情報機器整備事業	A
・学校間ネットワーク整備事業	A
・小学校指導用教材整備事業	A
・中学校指導用教材整備事業	A
・各学校ホームページの活用	A
・ライブ中継システムの効果的な活用	A
・校務支援システム導入事業	A
・各園・小中学校の英語リーダーが集う「本巣市英語教育推進委員会」の充実等	A

施策② 心と体のすこやかな発達	評価
・道徳教育の推進	A
・道徳研修の充実・教師の授業力向上	A
・図書室の蔵書等の充実	A
・学校図書電算化システムの整備	A
・〔地産地消〕給食に本巣市産・岐阜圏域産・岐阜県産の食材を取り入れる	A
・体力テストの実施	A
・部活動支援事業の実施	A
・生きる力を育むプロジェクト（園児体力向上支援事業）	A

施策③ 子どもの自主的、実践的な活動の支援	評価
・児童会・生徒会活動サミットの実施	A
・E S Dの視点に立った教育の推進 環境保全活動事業の実施	A

施策④ 個のニーズに応じた特別支援教育の推進	評価
・特別支援教育、園・学校における個に応じた指導の充実	A
・定期的な教育相談、保護者のニーズに応じた相談	A

施策⑤ 教職員の研修の充実	評価
・4～7月：事務管理訪問(園小中学校1回実施)	A
・9～12月：教育指導訪問(小中学校1回実施)	A
・校長会、教頭会で、児童生徒の学力向上、教職員の資質の向上に向けた改善事項を周知	A
・英語教育パワーアップ事業	A

- ・市外他校の研究発表等への参加
- ・教育研究会活動事業の実施
- ・教育実践論文による実践の整理の促進
- ・研究指定実践校の指定
- ・指定研修、希望研修の開催
- ・ALT・JTEの園・小・中学校への配置と研修実施
- ・教職員特任指導講師の配置、リーダー教職員養成研修の実施

A
A
A
A
A
A
A

目標2 園・学校・家庭及び地域との連携による一貫した教育環境づくり

重点(1) 共に学び合う環境づくり

施策① 連携強化、ふるさと学習の推進

評価

- ・学校関係者評価結果の学校(園)経営への反映
- ・自然や文化等に精通する人材の発掘・把握
- ・ふるさと学習事業 特色ある教育活動推進事業

A
A
A

重点(2) 地域から学ぶ学校づくり

施策① キャリア教育の充実

評価

- ・生きる力を育てる教育活動事業
- ・生きる力を育てる教育活動事業、進路指導対策事業

A
A

施策② 地域ぐるみによる子ども支援

評価

- ・1家庭1ボランティアの啓発活動
- ・MSJ活動の推進
- ・地域行事への積極的な参画促進
- ・各種表彰、コンクールへの積極的な参加の促進

A
A
A
A

重点(3) 地域による教育支援体制づくり

施策① 子どもの安全・安心の確保

評価

- ・通学路の点検
- ・子ども110番の家支援
- ・すぐメールの活用
- ・児童生徒に対する安全・安心な食材の選定、使用
- ・食物アレルギーへの取り組み
- ・学校給食センター運営委員会の開催
- ・学校給食アドバイザーの配置
- ・各園・小・中学校における命を守る訓練の実施(地震・火災・不審者等)
- ・ネットトラブル チェックシートの活用及び「ネット人権宣言」の提唱

A
A
A
A
A
A
A
A
A

目標3 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり

重点(1) 未来を築く人づくり

施策① 青少年の健全育成と国際感覚をはぐくむ教育の推進

- ・ジュニアリーダー活動支援
- ・青年団活動支援（地域づくり）
- ・子ども会支援活動
- ・連合PTA支援
- ・ふれあいサマーフェスタ
- ・成人式開催
- ・乳幼児期家庭教育学級（0～3歳児対象）
- ・家庭教育学級（委託開催）
- ・市青少年育成市民会議総会
- ・少年の主張大会
- ・青少年育成推進員会
- ・青少年主体の活動支援
- ・ほほえみジュニア文化祭
- ・地域独自事業（ふれあい会議）
- ・家庭の日作品募集事業
- ・朝食レシピコンテスト事業
- ・あったかい言葉かけ運動事業
- ・青少年国際交流事業
- ・青少年海外派遣事業

評価

A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A

重点(2) 人を育てるコミュニティづくり

施策① 生きがいと活力のあるまちづくりの推進と充実

- ・公民館講座・教室ガイド
- ・公民館・分館活動の支援等
- ・数学のまちづくり事業
- ・数楽校運営事業
- ・子どもの読書活動推進関連事業
- ・公民館設備管理事業
- ・生涯学習推進事業
- ・学習機会の提供、図書購入等
- ・青少年平和教育研修事業
- ・地域コミュニティ支援事業
- ・チャレンジクラブ支援事業
- ・もとすボランティア44
- ・赤彩古墳の館開館事業、民俗資料館活用事業、古文書ボランティア、船来山古墳群ボランティア、美術展ボランティア

評価

A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
B
A

重点(3) 伝統文化を受け継ぐふるさとづくり

施策① 郷土の歴史、文化の伝統及び芸術・文化の推進と充実

- ・文化協会等の支援
- ・文化ホール自主事業の充実
- ・文化財保存活動事業（伝統芸能の育成・支援）
- ・主要設備改修計画の策定
- ・文化財保護審議会の開催と文化財保護事業の実施
- ・市内発掘調査の実施
- ・船来山古墳群詳細遺跡分布調査
- ・文化財保存団体支援・記録保存
- ・高木貞治博士顕彰事業
- ・文化財環境整備
- ・歴史探訪セミナー・赤彩古墳の開館・企画展・親子歴史体験教室【ふるさと学習ロマンプロジェクト事業】
- ・美術展等の開催

評価

A
B
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A

目標4 安心して学ぶことができる教育を支えるための環境づくり

重点(1) 子どもの居場所づくり

施策① 安心して学べる学校の創造

- ・教育相談員研修の実施
- ・生徒指導対策事業の実施
- ・学級満足度調査の実施
- ・生徒指導等事例検討会の実施
- ・いじめ防止基本方針の運用
- ・いじめ問題対策連絡協議会の実施
- ・遊具及び体育施設点検の実施
- ・心肺蘇生法実習事業

評価

A
A
A
A
A
A
A
A

施策② 個に応じた学習支援、教育相談の充実

- ・児童の実態に合わせた支援員（学習・生活）の配置
- ・ライブ中継システムを活用した合同授業の実施
- ・相談員の配置
- ・小学校非常勤教育講師配置事業の実施
- ・中学校非常勤教育講師配置事業の実施

評価

A
A
A
A
A

施策③ 特別支援教育体制の充実

- ・ 支援員研修会の実施
- ・ 特別支援教育連絡協議会の開催
- ・ 支援チームの計画的巡回訪問の実施
- ・ 教育支援委員会の開催、中学校区毎の教育支援委員会の開催

評価

A
A
A
A

重点(2) 地域による教育支援体制

施策① 学校施設・設備、備品の整備・充実

- ・ 小学校小規模改修事業
- ・ 小学校大規模改修事業
- ・ 小学校芝生化改修事業
- ・ 中学校小規模改修事業
- ・ 中学校大規模改修事業
- ・ 小学校管理備品購入事業
- ・ 小学校教材整備事業
- ・ 中学校管理備品購入事業
- ・ 中学校教材整備事業
- ・ 給食センター設備修繕・購入事業

評価

A
A
A
A
A
A
A
A
A
A
A

施策② 社会の変化に対応した教育環境の整備

- ・ 根尾、外山地域活性化検討会議の開催
- ・ 放課後児童健全育成事業の実施
- ・ 学力向上サポート事業説明会(学力向上サポートの体制づくり)
- ・ 学力向上サポート事業
- ・ 放課後チャレンジクラブの実施
- ・ 多子世帯学校給食費補助事業

評価

A
A
A
A
A
A

V. 評価委員会からのご意見

教育委員会の活動状況及び事務事業の執行状況について、点検評価委員会において委員からのご意見を集約したので報告します。

1. 教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会の活動状況

② 総合教育会議の開催

- ・本巢市型コミュニティ・スクールを各中学校区に設置し、各校で活動がスタートしました。
- ・本巢市型コミュニティ・スクールは特に地域との連携を図っていききたい。既に昨年の全国の会議においては、コミュニティ・スクールを実施している県・市があります。

(2) 調査活動の状況

② 先進地視察

- ・根尾地区での小中一貫教育である義務教育学校の立ち上げに向けて参考にしていきたい。
- ・文科省の指針もあるとは思いますが、過疎地域とそうでない地域の学校区では考え方も変わってくると思います。地区の事情にあった一貫教育の構築をお願いします。
- ・本巢市の実態を考えたとき、羽島市の桑原学園も参考になることが多いと考えられる。機会があれば参観したい。

2. 事務事業の執行状況について

目標 1 知徳体の調和がとれ、自己実現をめざす自立した人づくり

重点(1) 子どもの学力を伸ばす授業づくり

施策① 確かな学力、学校ICTの活用

- ・授業参観のときに、「自分の教科指導を観る一つの〔窓〕」を視点として観察し指導することができる。
- ・学習支援員をどう生かすか、個に応じた指導や学力向上に資する上で重要。今後とも学習支援員の配置を充実し、個に即した指導、基礎学力向上に努めてほしい。
- ・算数では少人数指導を実施し、個に応じた指導と進めるとともに、担任と支援員が連携し、個の特性に応じた支援ができています。
- ・先生方の負担は非常に大きなものとなっていると思いますが、生徒一人一人の能力に合わせた指導ができるようになったことは非常に良いことだと思います。児童、学生数が減少する中で、全ての子どもたちが個々の能力に合わせた指導を受けることで、将来的に格差のないスキルが身につく環境づくりは重要だと感じます。
- ・個に応じた学習指導の実施は、大規模校については個に応じた指導が難しいと思われる。
- ・学校関係者評価委員会が市内小中学校の教育力向上に果たしてきた役割はおおいに評価できる。この成果を新たなコミュニティ・スクール制度のスタートラインとしたい。
- ・学校関係者評価委員会では、幼小中が共通理解のもと、指導内容を共有できている。
- ・幼小中とつながる教育と言う意味では、幼稚園から将来を見据えた指導は重要だと思います。
- ・学校評価の委員会に校区の幼稚園長が参加し、「聴く・話す」ことが幼小中を通して高められたことは良いことと思います。
- ・「聴く・話す」の姿勢づくりを幼小中一貫して行うことは、学習効果を高めるとともに、自他を

- 尊重する心とともに自己見つけ、自己啓発、自律、自立につながるものと思います。是非継続を。
- ・情報機器整備事業について、電子黒板が市内全教室に設置され活用されることになったことは事務局の努力のたまものだと思う。しかし電子黒板を含む電子機器はあくまでも機械であり、故障もつきものである。常に最善の状態でも活用できるようメンテナンス体制も万全にしていきたい。
 - ・電子黒板等、ICT 機器を効果的に活用し分かる授業の展開に役立っている。今後も、各教室に設置された電子黒板を有効活用したい。
 - ・2020年1月のWindows7のサポート終了を見据えて、中学校のパソコン教室の整備を計画して頂きたい。各教室でも利用できるように、タブレット型でWi-Fiの整備をお願いしたい。
 - ・教科書の2次元の世界だけでは分かりづらいことも多くあります。時代に合わせた電子機器の活用は将来に向けて大事なことだと思います。但し電子機器に依存しすぎると、字を書いて覚えるなど本来の学習方法がなくなるのではないかと懸念も感じますが、教科書の2次元では分かりづらいモノも、3次元で動く教材になると理解度も深まると思います。
 - ・小学校からパソコンを用いたプログラミング教育が始まると聞きます。心配する事ではないかもしれませんが、先生方のパソコンに対するスキルアップについても、その対応策をご検討ください。
 - ・根尾小学校の教職員のパソコンと教室のパソコンが更新されたことは大変ありがたいことです。先日の授業参観で電子黒板を見てびっくりしましたが、将来を見据えたタブレットパソコンの導入等、成果を期待します。
 - ・校務支援ソフトを活用し、学校間や担当者間の情報共有と伝達、個人情報の管理を進めたい。
 - ・どこの社会でも個人情報の管理、情報共有は大切なことですが、教育現場でも高度なセキュリティ環境がつけられ運用されていれば安心です。
 - ・教員がデジタル教科書の様々な機能を熟知して日々の授業に活用できるよう研修も充実したい。
 - ・教科書では示すことが難しい動きを、デジタル教科書を活用し、児童が理解しやすい説明ができる。
 - ・子どもたちも小さなころからスマートフォンやタブレットが使える環境となってきました。特に小学校時代は色々なものを吸収することが早い時期ですので、正しい発音、書き方などが効率よく勉強できることは良いことだと思います。但し、ノートに字を書いて覚えると言うことは基礎だと思いますので、ローカルな勉強方法とうまく融合した教育指導ができると良いと思います。
 - ・指導用教材・デジタル教科書の導入で至れり尽くせりの感があり、整備の充実を感じます。児童の学習意欲が高まり、理解の定着ができたことは素晴らしいことと思います。
 - ・どちらかというデジタル機器に頼ることが多過ぎるように思われる。鉛筆などを使用する機会を忘れてはいけない。
 - ・指導用教材・デジタル教科書の導入で、教師と児童が共に活用しながら、授業が進められる。
 - ・小学校同様、デジタル教科書の導入により、具体的成果があったものと思いうれしく感じます。これには多額の資金が投入されていると思いますが感謝です。
 - ・「地域に開かれた学校」となるには各学校のホームページは有力な手段。しかし、古い情報のままではチェックする人も減り、意味をなさなくなる。常に最新の情報が更新されていく体制構築が大切。
 - ・各学校のホームページを今後も活用していきたい。
 - ・各学校のホームページについて、基本的には更新等が容易なシステムであるが、業者しか変更できない部分があると思われる。トップページが開設当初のままであったり、レイアウトも実態に合っていなかったりするので、対応をお願いしたい。

- ・遠隔授業の継続実施は大変すばらしい決断だと思う。ライブ中継システムは学校間交流以外にも多様な機関等との交流に活用できる。それによって、集団性や社会性以外の資質を身に付けることができ、小規模校の児童生徒の資質向上に大きな支えとなると思う。
- ・小規模校にとって遠隔教育実証事業の指定校から外れたことは残念ですが、引き続きライブ中継システムを活用することのご努力に感謝したい。
小規模校の児童が、相手の話を聞く、大きな声で話すことが少しでもできれば自己実現をめざし自立した人づくりの目標が達成されつつある証です。
- ・働き方改革が叫ばれている今、こうしたライブ中継システムの導入は教職員の心強い味方、さらに充実させていただきたい。
- ・校務支援ソフトにより、小学校では、長期休業日前に実施する個別懇談会の資料が作成できる。今後は、子どものすがたの書式を市内で統一し活用していきたい。
- ・他市に先駆けて校務支援ソフトを導入して頂き、大変ありがたい。まだシステムとして未成熟な部分があるので、今後とも業者のサポートを受けられるようお願いしたい。
- ・先生方の労務環境は非常に厳しいと聞きます。現地現物で現状把握を進め、校務支援システム活用による校務改善ができるものについては今後も進めてください。
- ・教職員の多忙化は種々議論されている様です。校務の適正化等整備してください。
- ・担任・JTE・ALTの三者が連携し、楽しくコミュニケーションできる英語活動が行われている。
- ・私たちの時代の英語の勉強は、まさに英語を日本の国語版にした内容でしたが、先般の小学校訪問ではフリー会話による授業を行っていました。英語に対する興味をもてる授業でよかったと思います。日本流ではない英語の勉強ができる環境になってきていると思います。

施策② 心と体のすこやかな発達

- ・心を育てる教育は大切なことだと思います。このところ災害現場でボランティア活動をしている人の姿をテレビで見て素晴らしい心と体に感心します。
- ・道徳教育の研修会で学んだ内容を校内で伝達講習し、情報の共有を図っている。
- ・道徳学習については非常に難しい部分が多いと感じます。モノ事の判断、考え方など何通りもあり、どれも正しいと言えます。日本語は非常に難しい言語ですので、言葉の使い方一つで意味も変わります。先生方の指導力向上を願います。
- ・心を育てる教育は難しいことであると思いますが、推進教師の研修等頑張ってください。
- ・図書室に子どもたちの読みたい本をいろいろな形で導入し、多くの子どもたちが読書の世界に一層関心を持たせるようにしたい。
- ・児童会の図書委員会によるキャンペーン活動が工夫され読書活動の取組が進められている。
- ・パソコンを活用したバーコードによる図書の貸し出しや返却業務がスムーズに行われている。児童個人の借りた図書の集計を行い、読書の意欲化につなげている。
- ・学校給食センターからいただいた食材に関する原稿をお昼の放送時間に紹介し、全児童の食育に役立っている。
- ・給食に対する生徒の関心が高くなってきた。
- ・地産地消事業を実施されており大変ありがたいことであります。本巢市にはイノシシ、シカの肉を保存する施設もでき、活用しているようなのでジビエ料理を研究され、給食にも提供していただくのと有害動物の捕獲も進み、山間地の農家も安心して農業ができることになるので、地産地消の面から検討されたい。
- ・体力テストの実施により把握できた結果を基に何を改善すれば体力向上につながるのか検討し、今後の育成に活かしてください。

- ・部活動支援事業の実施により、保護者の負担軽減となり、とてもありがたい。ぜひ継続して頂きたい。社会人指導者の謝礼が予算化されていてとてもありがたいが、指導者の委嘱や指導も教育委員会が行って頂きたい。
- ・「生きる力を育むプロジェクト」では、幼児からの運動プログラムの開発は、本市の子どもたちの体力向上に大きな効果を発揮すると思う。
- ・「生きる力を育むプロジェクト」により幼稚園での成果を踏まえ、小学校において体力の向上を目指していきたい。

施策③ 子どもの自主的、実践的な活動の支援

- ・児童会・生徒会活動サミットについて、市内の児童・生徒同士の交流は他の地区にはない特色ある事業で、視野を広げそれぞれの良さを理解し合う効果が期待できる。さらに、本巣市民としての一体感を養う上でも効果が期待できる。ぜひ今後も発展させていただきたい。
- ・児童会・生徒会活動サミットで交流して学んだことを、自校の取組に参考にすることができている。
- ・生徒会サミットは、29年度より学校を訪問して活動の様子を見て意見交流をするようになったため、とても有意義な機会となってきた。
- ・児童会・生徒会活動サミットでは、学校間の交流をすることで新しい学びもあると思いますので今後も継続をお願いいたします。
- ・児童会・生徒会活動サミットでは、他校を訪問し、良いところを見つけて話し合い、自分たちの活動を振り返り今後に生かすことは、活動の交流として良いことと思います。
- ・環境保全活動事業では、地域との連携もあると良いのかと感じます。知己貢献の意識も高まるのでは。
- ・今年7月28日、中学生、役場職員OB、ロータリークラブ員と一緒に淡墨公園の池の清掃、周辺の草引き等行って愛掃活動の楽しさを知った。楽しく教育できる。

施策④ 個のニーズに応じた特別支援教育の推進

- ・特別支援教育の支援チームから専門的な観点からお話をいただき、児童への指導に役立っている。

施策⑤ 教職員の研修の充実

- ・「働き方改革」が喫緊の課題となっている。事務管理訪問のテーマにも、この点を重点のひとつとして加える必要があるのでは。
- ・事務管理訪問では、具体的な指導をいただき、改善に役立っている。
- ・教育指導訪問について、今後も教員が児童と向き合える時間を大切にしていきたい。
- ・授業力向上の大切なポイントに「ねらいの明確化」があると思う。それができていない教員に対して、訪問の折に具体的に指導して頂けるとありがたい。
- ・国や県からの「学力向上」や「教職員の資質向上」等の情報については、学校現場にかかわる様々な課題に、後追いではなく、先の見通しを持って対処していくことが肝要。本市では教職員一人一人が当事者意識を持って対処するという取り組み、ぜひさらに充実させていただきたい。
- ・国や県からの「学力向上」や「教職員の資質向上」等の情報について、日常的な会話や情報交流を大切にしたい。
- ・テレビや新聞を見ていると、教職員のびっくりするような事件が起きる場合がある。全員で考える場をつくることは大切である。各学校に於ける「学力向上」を図ったり、具体的な取組を交流することは良いことだと思う。

- ・「市外他校の研究発表等への参加」について、県内外のすぐれた教育活動等を視察参観し研修することは大変意義あること。予算が付いてもなかなか参加できないというのは、それなりの理由があるはず。研修に出やすい方策を教育委員会、校長等で。
- ・参加費や資料代は旅費からは出ないため、補助して頂くことで外部の研修会に積極的に参加するよう促すことができ、とてもありがたい。
- ・大変良いことである様に思えるが教育委員会の評価はBになっている。良いことでも実行することが困難な場合もある。Bの原因を皆で話し合うことが必要かもしれない。
- ・1年間の研修会を精査してもらい出張を減らしてほしい。研修会への補助の予算をつけてもらい、ありがたい。
- ・教育研究会の運営に係る内容について見直しが進められました。
- ・教育研究会のそれぞれの部会でも効率的な研修ができるように工夫している。総会の中身や時間については見直したい。議事の承認は理事会等で行い、部会のみ 15:30 または 16:00 から開始する。できるだけ出張を減らし、授業時間を確保したい。
- ・大変大切な授業研究会を全般的に小中合同で実施したようであるが、小中9年間の教育を考えれば良い方法と考えます。各種主任会に於いては、働き方改革を踏まえ研究会の在り方に議論が行われているようである。2期制移行等今後研究課題の議論は面白そう。
- ・若手の教員が教育委員会の指導を受けながら教育実践論文に取り組むことは、よい研修の機会になっていると思う。
- ・研究指定実践校の指定について、研修のよい機会だと思うが、授業をカットして全教員が参加することは見直したい。
- ・JTE の配置により、授業補助や学習支援が行われ、担任が安心して授業ができる。
- ・教育センターを核にして、研修（リーダー研修・中堅教員研修・研究主任研修等）が意図的計画的に実施されている。特に若手指導の研修は、指導時間等に配慮があり大変ありがたい。
- ・特任指導講師が学校を訪問していただけるのはありがたい。集まって話を聞くよりも、授業を見ていただいて具体的な指導を頂いた方が勉強になる。また、出張はできる限り回数を減らしたい。
- ・理科教育における準備等補助と専門指導員配置は今後も継続を。

目標2 園・学校、家庭及び地域との連携による一貫した教育環境づくり

重点(1) 共に学び合う環境づくり

施策① 園・学校・家庭及び地域の連携強化、ふるさと学習の推進

- ・本市の中学校区学校関係者評価委員会は、全国のモデルとなったように、児童生徒の姿で大きな成果を上げることができたと思う。PDCAシステムでの授業改善、学校改善が日常的に実施されていたことがよかったと思う。
- ・中学校区単位の学校関係者評価は、小中連携教育から小中一貫教育への方向性を示唆する取り組みで、大きな成果が見られたと思う。今年度からのコミュニティ・スクールにスムーズに繋いでいきたい。
- ・学校関係者評価委員会について、中学校区における幼保小中一貫した指導は、本当に大切な取組であると考えている。
- ・人材の発掘・把握では、キャリア教育の視点を今後も重視していきたい。
- ・18歳成人の時代が来ますので、早い時期から社会を勉強することは重要と考えます。受け入れ

側の企業の問題もありますが、今後も進路講演会や職場体験等の推進をお願いいたします。

- ・「ふるさと学習」事業の実施では、キャンプ、真桑文楽伝承活動以外にも「ふるさと本巢」の良さが実感できる体験学習の開発をさらに進めていただき、様々な角度から「ふるさと本巢」を大切に作る心を育てほしい。自然や文化に加え歴史や人（高木貞治等）にかかわる体験活動等も考えられる。
- ・地域の文化や伝統及び歴史を学ぶことは、地域を大切に思う心の育成につながると信じている。
- ・防災教育の一環として、地震断層観察館・体験館を小学生のうちに一度は訪れるようにしたい。中学校理科の地震の学習の基礎にもなる。
- ・地域の自然や文化に触れる「ふるさと学習」を通して、「ふるさと本巢」を改めて見直し、大切に作る心が育つことは大変良いことです。心が育った後は伝統文化の体験ができれば最高です。

重点(2) 地域から学ぶ学校づくり

施策① キャリア教育の充実

- ・地域人材の活用が多く为学校で多方面でなされ、新学習指導要領の言う「社会に開かれた教育課程」の先取りがなされている。さらなる充実を期待したい。
- ・各校の特色ある教育として、今後も大切にしていきたい学習である。
- ・学力向上も重要ですが、人が生きるための糧を学ぶことも大事なことだと思います。色々なキャリア体験ができるといいと思います。
- ・特に中学2年生からは将来を見据えた考えがもてるようになることも重要です。先生方が動きやすい環境づくりをお願いします。

施策② 地域ぐるみによる子ども支援

- ・「1家庭1ボランティア」では、子どもを通して、保護者への啓発も大切にしていきたい。
- ・「1家庭1ボランティア」チャレンジカードについては私達には分かりづらい。
- ・MSK・MSJ活動の推進について、中学校だけではなく、小学校でもボランティア活動が組織化され動き始めたことは今後大いに期待できる。
- ・児童会の活動を通して、児童自ら活動していくことができるように指導を継続したい。
- ・中学校では、MSJが有効に活動できていない。MSJは個人で登録するため、生徒会活動で行っている挨拶運動やボランティア活動との整合性が取れず、混乱している。もし継続するのであれば、生徒会として団体で登録するようにしたい。
- ・MSK・MSJの活動について、もっと学校教育課と社会教育課の連携が必要。
- ・地域の中で、中学生を中心とした子どもたちが様々な行事等に主体的に参加する機会があることは、将来の地域人を育てるうえからもとても有効である。
- ・地域行事への積極的な参画促進について、子どもの姿を通して保護者の意識も高めていきたい。
- ・子どもに対して地域の方から声をかけてもらう機会を作るのは、とても有意義である。運営については、もっと地域主体となるように働きかけて欲しい。
- ・クリーン活動等は地域貢献への意識づけができる活動だと思います。
- ・児童・生徒の進んであいさつするが、まだ出来ていない。
- ・子ども達が地域に溶け込み、自然体で挨拶が出来る。子どもたちの自主性を養うためにも、大いに促進を進めてほしい。

重点(3) 地域による教育支援体制づくり

施策① 子どもの安全・安心の確保

- ・大阪府北部地震における学校プールのブロック塀倒壊による児童の死亡事故は、改めて足下の安全確認の大切さを教えてくれた。通学路の安全について様々な角度から、初心に戻って、学校・保護者・地域挙げて再点検（総点検）する必要がある。
- ・子どもの安全について、自治会長、民生児童委員、青少年育成等の皆さんが積極的にかかわっていただけて本当にありがたい。
- ・通学路安全確認マップの見直しについて、通学路点検と並行して、地域の方の協力を得て計画的に行って欲しい。
- ・大阪の通学路での事故も記憶に新しいことですが、普段大丈夫だろうと思っていたことが、実は大きな事故要因でもあったことから、目線を変えて、交通事故も含めた出来る限りの点検・是正と行政への働きかけをお願いいたします。
- ・各部、担当の協力連携がもっと必要。地域・学校・家庭連携が不可欠である。
- ・子ども110番の家では、実際に子どもが怪我でお世話になりました。
- ・私の家は前から、子ども110番の家に登録されていますが、子どもが少ないため、安全の確認ができません。今年初めて幼い子どもも近くに住んでくれるようになったので、緊張感をもって対応したい。
- ・子ども110番の家の現状把握や連携が取れるよう確認・状況連絡が頂ける等、普段から絶えず新しい情報交換が望まれます。
- ・「すぐメール」の活用について、警報時の対応等で保護者とスムーズに連絡できている。大変ありがたい。
- ・「すぐメール」は大変便利でよく活用しているが、保護者からの回答機能を使いづらく、回答を依頼しても回収率が非常に悪い。業者に改善を依頼して欲しい。
- ・「すぐメール」は、関係役員等に未だ送信システムが徹底していない。
- ・学校給食について、ふるさと食材・地産地消等のメニューに工夫があり、とてもよい。
- ・細心の注意を払って、おいしい給食提供に感謝しています。お弁当作りがいかに大変か、母親は感謝していると思います。地元の食材にも心を配り、生産者のかかわり、本巢市ならではの給食提供をお願いします。民営化との話、少し不安。
- ・食物アレルギーのある児童生徒への個別的で緻密な対応、保護者にとって心強い取り組みである。
- ・アレルギー代替給食の取り扱いが定着してきた。成分表等、書式を統一し情報を分かりやすく記載できるとさらによい。
- ・学校給食センター運営委員会は、給食の衛生的で安全な管理に重要な会議であると考えます。
- ・学校給食アドバイザーの配置について、手作り感があり、妥協を許さない対応に感謝です。
- ・学校給食アドバイザーの配置により、献立が工夫され、子どもたちが給食を楽しみにしている。
- ・時折食中毒の話題がニュースで出ます。特に衛生面への指導については徹底をお願いします。
- ・地震、台風、豪雨、河川氾濫、暴漢、誘拐、SNS被害等々、児童生徒を取り巻く命の危険性は時代と共に増加し複雑化してきている。教師や保護者、地域の大人が守ってやるのは当然であるが、子ども自身が自ら身を守る術を身に付ける教育は益々必要性を増している。
- ・特に自然災害時にどのように行動すればよいかを重要と考えます。地域で考えられる災害を想定した訓練と、身を守る備品の充実化は必要だと感じます。
- ・実効性のある命を守る訓練について、子ども達ばかりでなく、保護者、家庭との連携体制をPTAと協力して備えてほしい。

- ・SNSは、大人の我々が考える以上のスピードで子どもたちの中に入り込んできている。安全な使い方等の指導は喫緊の課題である。
- ・ネットトラブルに巻き込まれない取組として、児童生徒一人一人とその保護者の責任と自覚が大切です。
- ・様々なサイトやアプリが流行ったり廃ったりしている。教員は子どもよりも情報に疎いので、最新の事例や対処方法について、情報を流して欲しい。
- ・各家庭へのネットトラブルチェックシートの配布だけで終わって欲しくない。

目標3 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり

重点(1) 未来を築く人づくり

施策① 青少年の健全育成と国際感覚をはぐくむ教育の推進

- ・ジュニアリーダー活動について、各地域への活動支援が大変多くなった。
- ・青年団活動がレクリエーション協会とも連携活動ができるといいです。
- ・子ども会支援活動について、今後も対応をよろしくお願いします。
- ・子ども会活動の資源回収の収入が少なくなり、活動が難しい。
- ・連合PTAについて、月1回の大切な会議を連絡会議のみにしたくない。
- ・夏になるとどこの地域も祭りやイベントがあり、参加する機会が増える。地域の伝統文化や新しい活性化イベントに積極的に参加し、地域の人たちとふれあいを深めてほしい。
- ・家庭教育学級について、担当者の学校訪問等、取材や参観も多くありました。
- ・市青少年育成市民会議について、地域挙げての見守りと一般市民への啓発活動が大切です。
- ・青少年健全育成に関わる行事が多いので、事業を精選し、参加する回数を減らすようにしたい。総会、少年の主張大会、主催者が異なるが非行防止総決起大会など、重ねて開催できないか工夫して欲しい。
- ・少年の主張大会をより多くの市民に視聴いただけるとよいと思います。
- ・青少年育成推進委員会には、挨拶運動にも本当によくご協力いただけています。
- ・青少年主体の活動支援について、各中学校との打ち合わせがあると、取り組み方ももっと良くなるのでは。
- ・地域独自事業で根尾地域における少年の主張大会は、少人数にもかかわらず、良く頑張っていると思います。
- ・家庭の日作品募集事業について、今後も啓発活動を継続していきたいです。
- ・朝食レシピコンテスト事業について、給食のメニューに採用されることはうれしいことです。
- ・あったかい言葉かけ運動事業について、今後も広く地域に広げていきたい活動です。
- ・青少年国際交流事業について、単発の交流であり、生徒たちに交流しているという意識はまったくくない。様々な活動がある中で、本当にこの事業が必要なのか、子どものためになっているのか見直して欲しい。

重点(2) 人を育てるコミュニティづくり

施策① 生きがいと活力のあるまちづくりの推進と充実

- ・高木貞治博士記念室も整備され、地域活性化の起爆剤にしていけるとよいと思います。
- ・算数・数学甲子園の参加者が増えて盛況になってきているので、問題作成に関わる先生たちの負

担を軽減できるように工夫して欲しい。専門業者に依頼することも検討していきたい。

- ・数学が苦手な子どもから、更に高度な問題に取り組みたい子どもまで、幅広いニーズに対応できるようにするとよい。
- ・子どもの読書活動推進関連事業について、定期的に読み聞かせボランティアの皆さんのご協力をいただいています。
- ・幼児期から本に興味関心を示すために読み聞かせ等を大切にしたい。
- ・地域支援コーディネーターに、学校で大変お世話になっています。
- ・放課後チャレンジクラブに、子どもたちは大変楽しみにして活動に参加しています。ありがとうございます。
- ・各担当者に活動内容を見学してほしい。
- ・放課後チャレンジクラブに、カラーリング教室も各校区に取り入れて頂くとありがたいです。
- ・もとすボランティア44について、本巣地域のみの事業であり、参加団体にとって負担が大きい。地域独自事業との整合性を図って市全体で見直したい。
- ・船来山古墳群の国指定に向けて活動をさらに充実させていきたいです。
- ・安心・安全見守り事業について、下校時の見守りを推進していきたいです。
- ・多くの地域の方が見守ってくださることによって、安心して登下校ができています。
- ・人権教育推進事業について、諸事業を通じて人権意識の高まりはうれしいことです。
- ・人権啓発リーフレット「心の輪」の発行はおおいに評価できる。これがどれだけ活用されているか、機会があれば追跡調査も行ってみたい。
- ・人権教育を広く市民に啓発していきたいです。
- ・心の輪については、毎年同じような内容で発行されており、どれだけ効果があるか疑問である。内容や回数も含めて見直しをしたい。
- ・本巣は「本の巣」とも読める。読書環境が整っていて（魅力的な本がたくさんある。図書室や図書館も魅力的）、読書人口も多く、文字通り「本の巣」にしていきたい。

施策② スポーツコミュニティづくりの推進と充実

- ・体育協会21団体が、健康寿命延長の基礎作りに、活発に活動してほしいです。団体の活動報告などもCCネットなどで放映も活性化の一つかもしれません。
- ・種目別大会等も参加チーム減少傾向になっていませんか？マンネリ化はさけたいです。
- ・地区及び県大会への選手派遣に要する経費支援は大変ありがたいことです。それに応えるべく、結果を期待したいです。
- ・伝統ある「本巣駅伝」を今後とも発展させていき、本巣駅伝からオリンピック選手が誕生することになれば嬉しい。
- ・本巣・北方・瑞穂駅伝が60回という歴史を刻む大会。又旧本巣郡の交流が続き大切にしたい大会です。高校の参加がもう少しあると良いです。
- ・清流駅伝の成績も中位まらずです。組織のない中、本巣アスリートクラブを中心に、選手選出、練習方法等、関係者のご尽力に、感謝です。CCNetなどで、練習風景等、PRも宜しく願います。埋もれた人材発掘にも効果があるのではないのでしょうか。
- ・スポーツ少年団活動について、警報発令時等における活動の有無など共通理解しておくとういと考えます。
- ・勝敗の前に、友達と楽しい時間が過ごせる、その種目が好きになる、そのあとに結果が続く。まず人を育てることを望みます。
- ・各単位スポーツ少年団の活動において、子ども達が活動しやすい環境づくりは、我々大人が、安

全面等、十分注意喚起が必要。

- ・3市町（本巢市、瑞穂市、北方町）スポーツ少年団合同での「リーダー養成研修会」について、少年団でしか味わえない行事。上級生になる自覚が生まれ、理想のリーダーが育ってほしいです。
- ・各種スポーツ団体の活動支援及び各事業の展開について、自分の健康は自分で管理、市民の皆さんには自分の体力に合わせ、積極的に参加してほしい。
- ・ソフトバレーボール大会への参加チーム数がやや減少。チームの高齢化、新しいチームの参加が難しくなっているのが現状。ニュースポーツも同時に考えていくと良いです。
- ・毎月2回のカラーリング教室の成果として、多くの参加が得られる。カラーリングの道具も何組か揃えることが出来ているが、大会は各務原より借用。最低でも、各地区公民館に常備できると、利用者の負担が少なくなります。
- ・早春淡墨桜浪漫ウオークの運営が広範囲で大変な中、スタッフのアイデアと努力で本巢市が中核となった本巢市が誇れる素晴らしい行事として定着している。
- ・淡墨桜浪漫ウオークでモレラ岐阜を出発にした事は非常に良かった。参加者が13km、30kmに集中し、受付がもう少しスムーズにできる人員配置がほしい。モレラ岐阜での受付テントの位置、受付から出発までの参加者の動線の把握により参加者に、快く出発して頂く配慮が出来る事が、おもてなしの第一歩につながるのではと思われます。完歩後は、参加者の満足感がとても伝わってくるウオーキングです。もっと、本巢市民の参加を増やしウオーキングのまちづくりとして、すべての年代に合わせた方法で、推進が出来る事を願います。
- ・もとす遊RUNについて、冬季の根尾地域の為、交通の便、天候の心配、他のイベントと重ならない等、配慮に感謝します。南部の参加者には樽見鉄道利用メリット、行政バスなどの利用で、参加者増にも繋がる方法かとも思います。改善しながら最善な大会として、取り組んでいると思います。
- ・軽スポーツカーニバルでは、毎年参加者が増えとてもうれしい事である。特に参加者は、普段スポーツ参加が難しい。小さい子どものファミリーが多い。今年から、レクリエーション協会も同時開催となり、来年度は共同で、より多くの軽スポーツを楽しんで頂けるよう、取り組む事が良いかと思えます。
- ・F C岐阜支援について、色々な方法でもっともっとPRをして、支援が出来る様になるといいです。サッカー関係者だけでなく、商工会等市内においても、盛り上げ、ワールドカップの余韻を生かせるといいです。色々な市内のイベントに、F C岐阜ブースを設けグッズ販売等、地元の盛り上げで支援PRをしてみても。
- ・自治会及び子ども会の活動支援では、カラーリングの貸し出しに特に力を入れ、三世代で楽しんで頂くよう、引き続き、PR、出前指導にスポーツ推進員として取り組みます。
- ・各種大会について、周知方法も色々考えて頂いているが、各公民館の窓口の受付周知、掲示方法の指導があるとよい。
- ・スポーツ基本計画において、スポーツ推進委員に熱意と能力のある人材の登用、研修機会の充実。推進委員相互の協力体制を確立して資質向上を図るとあり、日々研鑽に努める。現在、欠員も発生、生涯スポーツに理解が得られる人材、仲間が増えることを期待する。
- ・本巢市生涯スポーツ振興に向けての月例会について、企画、普及、事業部会に分かれ、市民のニーズに合う生涯スポーツ、健康づくりをマネジメントサイクルに沿って取り組んでいる。スポーツクラブとも連携を取り、座学、実技に取り組む。9月と3月の広報もとすに、活動報告を掲載している。
- ・どのイベントも、楽しく、多くの参加者がある。評価、改善を加えながら、より良いイベント開催に取り組んでいる。

- ・全国、県、地区等一回でも多くのスポーツ推進委員の研修に参加し、自己研鑽に励みながら、スポーツ推進委員の資質向上に取り組んでいる。岐阜地区では、障がい者スポーツの実技研修において、リーダー的立場で活躍している。
- ・研修会については、企画部会中心に、自主研修、特にスポーツクラブとの連携を深めるために行っている。年間2回程は必要とする。普及部会では、随時カローリングの審判講習にも取り組んでいる。
- ・スポーツ関係者合同研修で情報交流が出来ると良い。地域貢献して頂ける、指導者発掘にも役立つのではないかと。
- ・指導者育成研修会について、仕事をしながら、指導者として活躍して頂いている。指導力向上はもとより後継者育成指導も必要かと思えます。
- ・引き続き、大会の結果を情報発信して、市民からの関心、応援を期待します。
- ・クラブはスポーツにお金を払って楽しむ。民間のクラブに比べ近くで楽しめる。本巣市全体で講座開設ができ、身近で楽しめるクラブに発展していくことを望む。指導者の御苦勞に感謝し、新講座開設の指導者確保に、引き続き支援をお願いします。
- ・クラブもマネジメントサークルを活用され、改善に改善を重ね、市民の要望も取り入れる充実した講座づくり、御苦勞と思いますが、民間クラブも参考に、市民の為のクラブづくりを引き続きお願いします。
- ・多くの人が利用する体育施設は、利用者の声も大切な情報。マニュアル化をして、小さいことも見逃さないよう、安全対策には十分注意してほしい。

重点(3) 伝統文化を受け継ぐふるさとづくり

施策① 郷土の歴史、文化の伝統及び芸術・文化の推進と充実

- ・文化ホール自主事業は著名人等、計画的に開催されています。
- ・文化ホール自主事業の充実は大きな課題ですが、左の内容を見ると良く努力されていると思えます。
- ・根尾谷地震断層観察館は貴重な施設なので充実・改修に感謝します。
- ・船来山古墳群出土品が県文化財保護審議会と再調査を行い、687点が県指定になったことは素晴らしいことです。
- ・687点の出土品は将来的に国の重文指定に指定されるだけの価値ある資料ばかり。船来山古墳群の国指定と併せて、その中核施設として相応しい展示施設の検討と建設計画、市民への教育普及等今後ともなお一層考えていただきたい。
- ・地域と歴史遺産として大切に保管・活用していけるとよいと思えます。
- ・船来山古墳群は本巣市が全国に誇れる文化財。国指定に向けて、一層の努力を期待したい。
- ・将来的には船来山の春と秋の開館だけではなく、学芸員を常駐させ、通年で開館し、船来山古墳群の至宝を市民のみならず県民・国民にも広く普及していくようにしていただきたい。それだけの価値ある文化財を有する施設である。
- ・本巣市の偉人・高木貞治博士記念室の完成は、長年の懸案に応えるものであり、今後は、この施設の活用をどのように図っていくかが課題。
- ・記念室の設置は大変素晴らしいと思えます。広くPRし来館者を増やしていけるとよいです。
- ・記念室の案内で英語案内を。
- ・本巣市の子どもたちに対する啓発をさらに進めると共に、市外からの訪問者も増やすように工夫

したい。

- ・数学のまちとして、色々の催しで取り組まれ数学は楽しい＝好きに繋がると良いです。
- ・美術展について、現有スタッフでこれだけの人を集めているのは、おおいに評価できる。

目標4 安心して学ぶことができる教育を支えるための環境づくり

重点(1) 子どもの居場所づくり

施策① 安心して学べる学校の創造

- ・教育相談員について、校内での子どもたちへの見守りや変容の変化に注意していただき情報の共有に役立っている。全ての曜日と終日勤務にさせていただけるとありがたい。
- ・最近は見えないいじめがあると聞きます。すべての生徒に目を配ることは難しいことですが、いじめ発見のスキル向上に期待します。
- ・学級満足度調査は、今後もぜひとも継続していきたい調査である。
- ・学級満足度調査により、学級全体の状況と一人一人の状況が一度に把握できるので、指導に役立てることができている。
- ・いじめ防止基本方針の改定が国・県・市で行われ、学校でも改定され、良い環境の中でいじめがなくなることを期待します。
- ・子どもたちの様子を注意してみたい。
- ・遊具及び体育施設点検について、修繕箇所等、優先順位を付けての速やかな対応はありがたい。
- ・子どもの身体育成には遊具は大事な施設だと思います。予算的問題でなくすのではなく、危険場所を改善し残せる方法を検討し予算化してください。

施策② 個に応じた学習支援、教育相談の充実

- ・支援員（学習・生活）の配置は、本当にありがたいです。特性に応じた活用ができています。
- ・教育相談員を、おおいに活用していきたいです。
- ・教育相談員が中核となり、教職員とSC・S相談員とが連携を図りながら子どもの支援を行うことができている。
- ・生活支援員、学習支援員が配置され児童の特性に応じた個別の支援が受けられ本当にありがたいことです。
- ・生活支援員、学習支援員が配置され学校は本当にありがたいです。特性をもつ児童が増加しています。
- ・多くの支援員を配置して頂くことで、きめ細やかな支援をすることができている。ぜひ継続をお願いしたい。

施策③ 特別支援教育体制の充実

- ・支援員研修会の実施を定期的に実施していただき、研修の機会を設けていきたい。
- ・特別支援教育連絡協議会の開催により、幼児期からの支援があり、幼小の連携がうまくいっています。今後も情報を共有して指導に当たりたいです。
- ・支援チームの巡回訪問の実施により、必要なときに相談ができ、指導いただけるのでありがたい。
- ・教育支援委員会の開催により、幼児期から途切れのない支援を行うことができている。
- ・特別支援担当教員の出張がかなり多くなっているので、会議や研修の精選をお願いしたい。

重点(2) 地域による教育支援体制づくり

施策① 学校施設・設備、備品の整備・充実

- ・小学校小規模改修事業について、校舎や機器に老朽化があります。優先順位をつけての対応をいただけない。また、現場を直接確認いただき、具体的な対応をしていただいている。
- ・本巣中学校屋外運動場整備工事により、水捌けもよく、運動場の状態が大変よくなった。大雨が降っても、数時間後には授業で使用することができる。
- ・小学校管理備品購入事業について、AEDの外部（外）設置は是非とも実施していきたい。

施策② 社会の変化に対応した教育環境の整備

- ・根尾小学校・中学校の存続は、大げさに言えば根尾地区の存続を意味している。両校を統合して義務教育学校化し、地域コミュニティの中核としていくことも今後考えていく必要がある。同時に、南部の小中学校との交流もより一層図っていきたい。
- ・根尾、外山地域活性化検討会議の開催について、故郷の良さを語り伝える、子どもたちのおかげで地域が活性化される。学校は活性化の拠点です。引き続き、連携強化を期待します。
- ・学力向上サポート事業説明会を今後とも継続して充実させていきたい。
- ・新学習指導要領の「社会に開かれた教育課程」を具現化していくためにも、学力向上サポート事業の充実が期待されている。
- ・放課後チャレンジクラブ等の活動は、子どもの健全育成に有意義である。
- ・多子世帯学校給食費補助事業は、多子世帯にとって、子育ての上でわずかながらでもゆとりある生活を送るための施策であり、今後とも充実していきたい事業である。
- ・給食費の未納など保護者の意識改革が必要な場合もある。